

ホスゲン（毒性ガス 無色 青臭い牧草のような臭気）

分子式	COCl ₂	分子量	98.9	容器の色	ねずみ色
用途	弾性体、接着剤、塗料などのポリウレタン系諸製品及び繊維処理剤、除草剤に利用、医薬品、可塑剤及びポリカーボネート樹脂の原料、染料及び染料中間体の原料				
該当法規	高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法				
物理的性質	<p>毒性の無色、特徴的な臭気（青臭い、牧草のような臭気）</p> <p>比重：3.45（空気よりずっと重い）</p> <p>許容濃度：0.1 ppm（窒息性の猛毒ガス）</p> <p>沸点：8.2</p> <p>ベンゼン、トルエンによく溶解し、四塩化炭素、酢酸に対しては20%前後が溶解し、水とは徐々に分解し、炭酸ガスと塩酸になる</p>				
化学的性質	<p>可燃性はない。蒸気は空気より重く地面あるいは床に沿って移動する</p> <p>300 以上に加熱すると分解して、塩化水素、一酸化炭素、塩素ヒューム等の有毒で腐食性のガスを生ずる。</p> <p>強酸化剤と激しく反応する。アミン類、アルミニウムと激しく反応する。常温、乾燥状態では、通常の金属を殆ど腐食しないが、水分が存在すると加水分解して塩酸を生じるため多くの金属を侵す。</p>				
注意事項	<p>十分な除害設備に接続された設備でのみ使用可能である。猛毒であるから、使用する場合は、予防措置を講じ、必ず2名以上で取扱う。</p> <p>容器を加熱する場合は40 以下とする。ホスゲンに汚染されたボロ、紙屑等は密閉できる不浸透性の容器に納めておく。</p> <p>通常使用しない重要なバルブ、ポンベ保管庫等は施錠又は封印等をしておく。</p> <p>ポンベ使用の場合は立てて使用し、鎖等で転倒防止対策を行う。</p> <p>設備の改修、清掃などの際は、作業指揮者、責任者及び作業手順などを決定し、予め作業に従事するものに周知する。指揮者には安全に作業を行う上で必要な知識を有する者を当てる。</p>				

ホスゲン（毒性ガス 無色 青臭い牧草のような臭気）			
事故時の措置			
消火方法		処理剤	炭酸水素ナトリウム、炭酸ナトリウム、消石灰等
漏えいしたとき	<p>危険区域から立ち退く。</p> <p>漏出した場所の周辺にロープを張り、「立入禁止」措置をして、風下の人を避難させる。</p> <p>少量の場合は、適切な除害設備がある時は吸引除害する。除害設備がない場合、炭酸水素ナトリウム、あるいは炭酸ナトリウムと消石灰等の混合物で漏洩液を注意深く中和する。作業を行う場合は空気呼吸器等の保護具を着用すること。</p> <p>多量に漏出した場合は、ポンプを停止し、元バルブを閉める。容器の場合は元バルブを止め、漏れがボンベ上部の場合、ボンベ下部を氷水等で冷却する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。</p>		
救急処置	<p>飲み込んだ場合は、意識があっても無理に吐かせてはならない。直ちに牛乳又は水を短い間隔で繰り返し与え、速やかに医師の処置を受ける。</p> <p>吸入した場合は、直ちに毛布等にくるみ新鮮な空気のある場所に移し、酸素吸入を行い安静にし、速やかに医師の処置を受ける。</p> <p>皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣服を脱がせ、接触部位を15分以上水で十分に洗浄し、速やかに医師の処置を受ける。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>きわめて有毒なガス。目、皮膚、気道に対して腐食性を示す。ガスを吸入すると肺水腫を起こすことがあり、高濃度に暴露すると死に至ることがある。一般にこれらの影響は遅れて現れることが多いので注意する必要がある。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「毒性のホスゲンガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。化学消防車の出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		